

# いの町 菊池学園だより (第30号)

伊野小学校研究発表会の4年生の授業からは「強い主張を考える」と「即興力」を身に付けるための手立てを紹介します。1組は「強い立論のひみつを見つけよう」、2組は「コミュニケーションを通して、ペア・チーム力や質問力を鍛えることができる」を学級活動で行いました。

## 4年1組 「学級ディベート」 揚田賢先生



A, B2つの立論を提示し、「AにあってBにないもの、BにあってAにないもの」について個人で考えた後、班で交流し、考えを深めていきました。



参考書籍  
個の確立した  
集団を育てる  
学級ディベート  
(2018 中村堂)

最後は、強い立論の秘密は『三角ロジック』【「主張」→「データ」→「理由付け」(→主張へ)】であると説明して、自分たちが作った立論と比較して、違いに気付かせます。

## 4年2組 「コミュニケーションゲームを活用して、チーム力・質問力を鍛えよう」 島村幸栄先生



まず、「寄ってたかって質問ゲーム」で連続質問の練習をします。次の「なぜなぜならゲーム」では、「連続質問して、3秒以内に、納得できる回答する」練習をして、班の代表者を決めます。



参考書籍  
「話し合い力」を育てる  
コミュニケーションゲーム62  
(2015 中村堂)

最後は代表者による「なぜなぜならゲーム」を行い、全員で判定を行います。判定時には、良かった理由(その人の対応の良いところ)も一緒に発表します。